

# 兵庫県下の経済動向

平成23年8月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個人消費	4
設備投資	6
住宅投資	8
公共工事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信用保証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、震災の影響を残しつつも、持ち直している。生産は、サプライチェーン障害の影響が概ね解消しつつある中で、東日本地区への供給増等を企図した生産積み増しの動きもあって、全体として回復が続いている。輸出は、緩やかに増加している。また、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、震災後にみられるものの、供給制約の影響が減衰する中で、消費マインドの改善傾向もあって、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調に復しつつある。この間、設備投資は増加計画にある。一方で、住宅投資は弱めの動きが続いている。公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が3か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車とも減少したことから、11か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォンの販売が引き続き好調な中、節電意識の高まりなどから省エネ家電の販売が伸びているほか、地上派アナログ放送停波に伴う更新需要から薄型テレビやレコーダーの販売が大きく伸びており、全体としても大幅に増加している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、現時点では、2010年度の減少から2011年度は増加する計画となっている。

住宅投資は、貸家が減少したものの、持家、分譲が増加したことから、全体では6か月ぶりに前年を上回った。

公共工事は、国、兵庫県、神戸市などすべての発注者が減少したことから、8か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出がアジア、米国、EU向けが増加し、18か月連続で前年を上回った。また、輸入については8か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、電子部品・デバイス工業、化学工業、輸送機械工業などの上昇により3か月連続で上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間および一人当たり名目賃金は前年を上回ったものの、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数が前月を下回ったものの、前年を上回り、金額は前月および前年を上回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

5月の兵庫DIは、先行指数14.3%、一致指数66.7%、遅行指数37.5%となった。

5月の兵庫CIは、先行指数92.1、一致指数97.2、遅行指数102.9となった。

兵庫DIは、一致指数が2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回ったが、先行指数および遅行指数が2か月連続で50%を下回った。

一方、兵庫CIは、一致指数が2か月連続、先行指数および遅行指数が3か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は「一部には足踏みの動きが見られる」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

6月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は102.1、前月比0.8%低下。出荷指数は102.3、同3.2%上昇。在庫指数は119.4、同1.6%上昇。在庫率は119.8、同1.6%低下。生産指数は2か月ぶりに低下、出荷指数は3か月連続、在庫指数は13か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が4.7%増で19か月連続で上昇、出荷は6.6%増で2か月連続で上昇した。また在庫は16.9%増で12か月連続で上昇した。

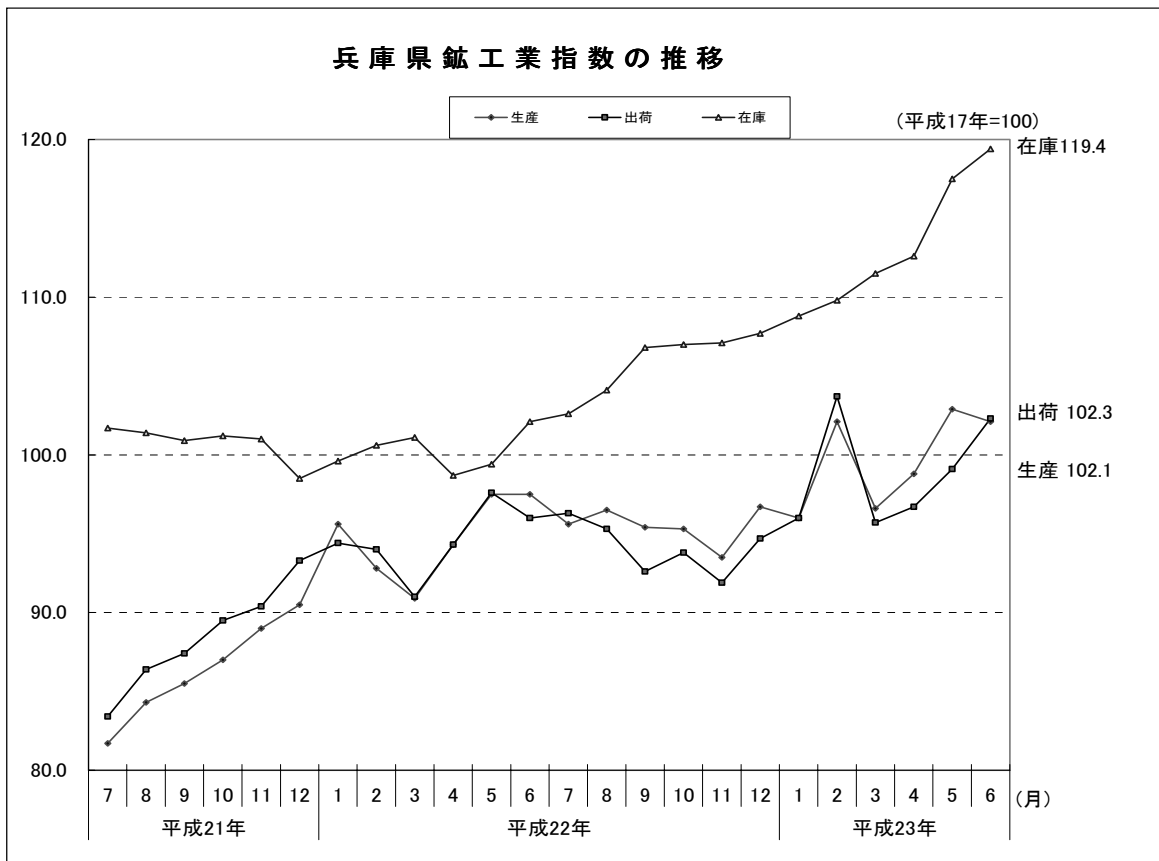
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、PDPモジュール等の「電子部品・デバイス」が13.3%、医薬品等の「化学」が11.2%、懸架制動装置部品等の「輸送機械」が5.0%、めん類等の「食料品」が3.2%、各々上昇したものの、反作用機器等の「一般機械」が7.5%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が6.6%、固定通信装置等の「情報通信機械」が5.8%、開閉制御装置等の「電気機械」が3.0%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼」が2.5%、各々低下した。

県統計課は、「県内の生産活動は、横ばいで推移している」としている。

6月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減(%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減(%)
生 産	102.1	0.8	106.8	4.7
出 荷	102.3	3.2	105.4	6.6
在 庫	119.4	1.6	118.9	16.9
在 庫 率	119.8	1.6	121.5	4.6

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



## 6月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	90.3	2.5	上昇	銑鉄、亜鉛めっき鋼板、特殊鋼熱間鋼管、鉄系鍛工品
			低下	普通鋼鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、鋼半製品、中形棒鋼
金属製品	94.3	6.6	上昇	粉末や金製機械材料、石油温水給湯暖房機、粉末や金製磁性材料、スチール・ステンレスドア
			低下	ガス温風暖房機、ガス風呂がま、鋼索、ガス湯沸器
一般機械	117.3	7.5	上昇	ショベル系掘削機械、プレイバックロボット、蒸気タービン部品、油圧バルブ
			低下	反作用機器、混合機・かくはん機・粉碎機、はん用内燃機関、C(W)BN 工具
電気機械	124.8	3.0	上昇	電力変換装置、電気がま、プログラマブルコントローラ、内燃機関電装品
			低下	開閉制御装置、一般用タービン発電機、クッキングヒーター、太陽電池モジュール
情報通信 機械	97.5	5.8	上昇	パーソナルコンピュータ、テレメータ・テレコントロール、搬送装置、カーナビゲーション
			低下	固定通信装置、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、レダ装置、無線位置測定装置
電子部品 デバイス	172.6	13.3	上昇	PDP モジュール、電界効果型トランジスタ、シリコントランジスタ(1W未満)、IGBT
			低下	レーザダイオード、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、シリコンウエハ、シリコントランジスタ(1W以上)
輸送機械	75.7	5.0	上昇	懸架制動装置部品、旅客車、機関部品、駆動伝道・操縦装置部品、
			低下	鋼船、特装ボデー、二輪自動車(125ml超)、二輪自動車部品
化 学	101.4	11.2	上昇	医薬品、無水酢酸、自動車廃棄ガス浄化用触媒、石油化学品製造用触媒
			低下	化粧品、酢酸(99%換算)、純ベンゼン、塩化ビニル樹脂
食 料 品	100.0	3.2	上昇	めん類、パン類、即席めん、清酒
			低下	ビール類、冷凍調理食品、内製品、米菓

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた7月の県内百貨店売上高は、前年同月比1.7%減の215億30百万円となり、3か月連続で前年を下回った。前年は7月だった夏のセールが今年は6月に前倒しになった店も多く反動減があったほか、下旬の天候不順が響き、客足が振るわなかった。

神戸地区では、猛暑や節電意識の高まりにより、女性の夏物衣料や涼感寝具などが好調だった。しかし、客足の落ち込みで食料品などが伸び悩んだ。姫路・加古川地区は、セールの夏物衣料を中心に婦人服や子供服が前年比プラス。ヤマトヤシキ、山陽百貨店のいずれも食堂喫茶は好調だったが、食料品が落ち込んだ。日本百貨店協会は「前年比マイナスでも減少幅は縮小し、消費マインドは回復傾向にある。しかし、猛暑で8月は秋物の動きが遅いようだ」としている。

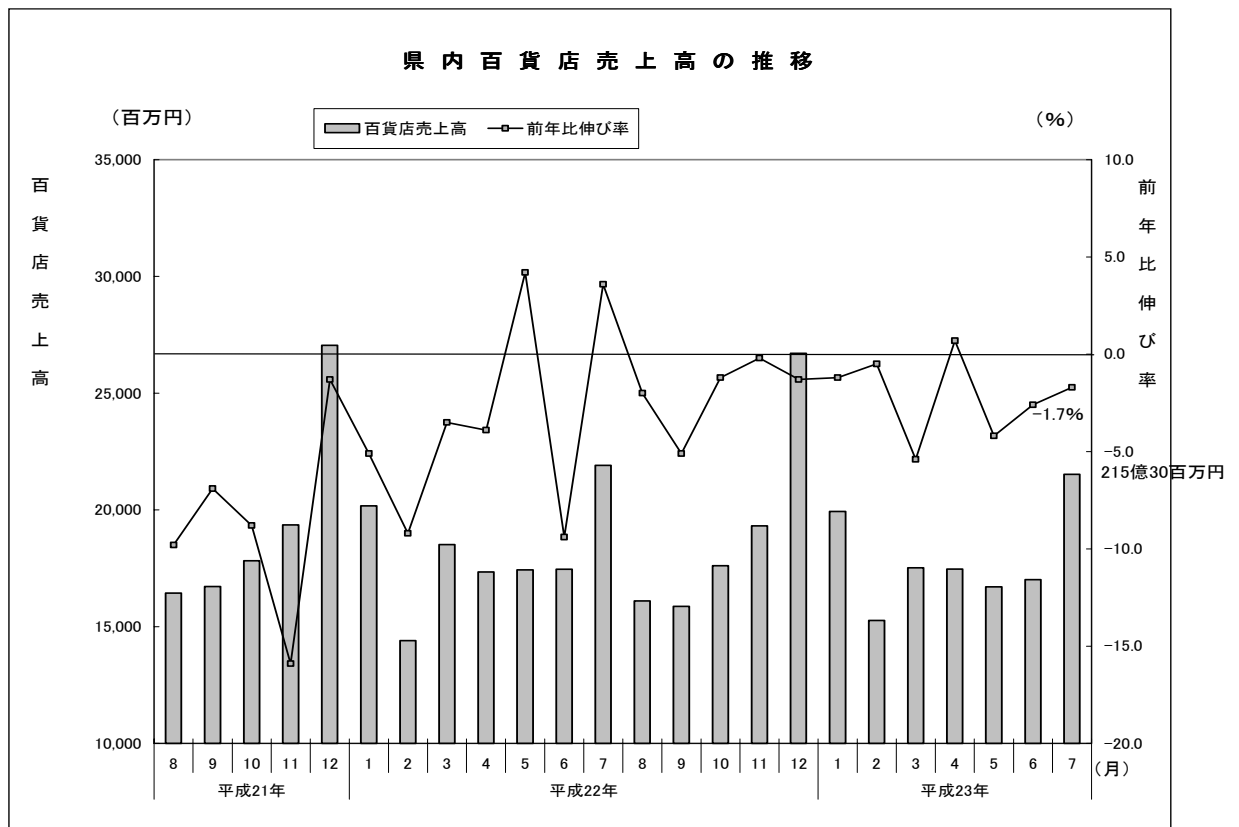
### 7月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	861( 1.4)	198( 3.7)	1,060( 1.8)
婦人服・洋品	4,945( 0.4)	796( 0.3)	5,742( 0.4)
子供服・洋品	564( 5.1)	100( 2.6)	665( 4.0)
身の回り品	1,811( 3.4)	319( 0.7)	2,131( 3.0)
家庭用品	745( 5.6)	150( 16.3)	896( 2.5)
食料品	5,870( 2.5)	1,212( 5.3)	7,082( 3.0)
雑貨	2,318( 2.3)	417( 4.6)	2,736( 2.7)
その他	878( 1.3)	336( 3.9)	1,214( 2.0)
計	17,996( 1.8)	3,534( 1.7)	21,530( 1.7)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内7月の乗用車新車登録台数は11,459台、前年同月比29.0%減と11か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

7月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,090台(前年同月比32.3%減)、小型乗用車は4,204台(同30.2%減)、軽乗用車は3,165台(同22.1%減)、乗用車合計で11,459台(同29.0%減)となった。

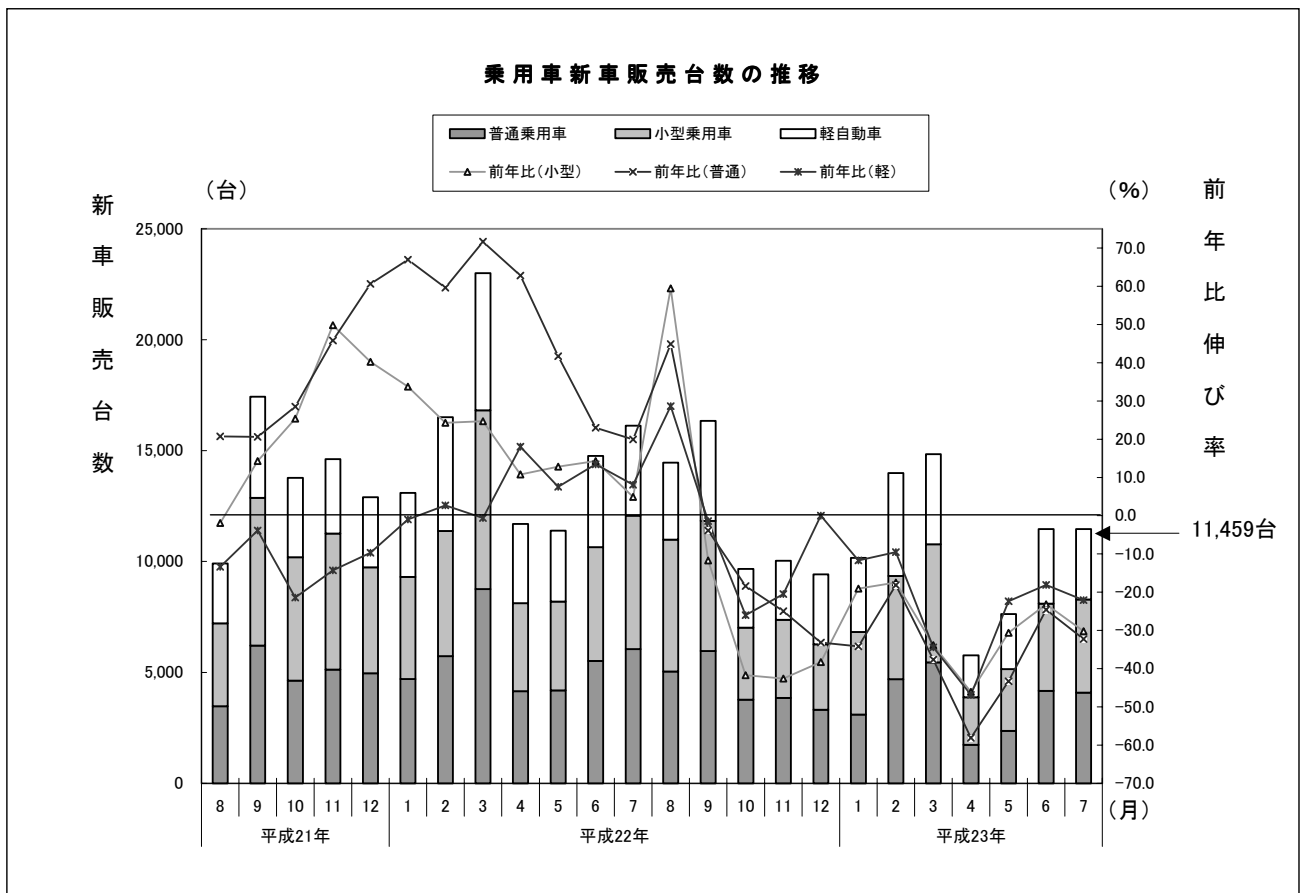
また貨物車等では、普通貨物車は237台(同0.4%減)、小型貨物車は535台(同7.1%減)、軽貨物車は1,207台(同19.6%減)、バスは16台(同72.4%減)となった。

### 7月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,090	32.3	95,357	33.2
小型乗用車	4,204	30.2	119,908	27.2
軽乗用車	3,165	22.1	97,568	13.8
<b>乗用車合計</b>	<b>11,459</b>	<b>29.0</b>	<b>312,833</b>	<b>25.6</b>
普通貨物車	237	0.4	8,903	5.7
小型貨物車	535	7.1	16,378	0.7
軽貨物車	1,207	19.6	34,012	15.0
<b>貨物車合計</b>	<b>1,979</b>	<b>14.5</b>	<b>59,293</b>	<b>8.7</b>
バス	16	72.4	926	14.7
<b>登録車総計</b>	<b>13,454</b>	<b>27.3</b>	<b>373,052</b>	<b>23.3</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が8月11日に発表した機械受注統計によると、平成23年6月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年5月前月比2.3%減の後、6月は同5.6%増の2兆1,005億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、5月前月比3.0%増の後、6月は同7.7%増の7,897億円となった。

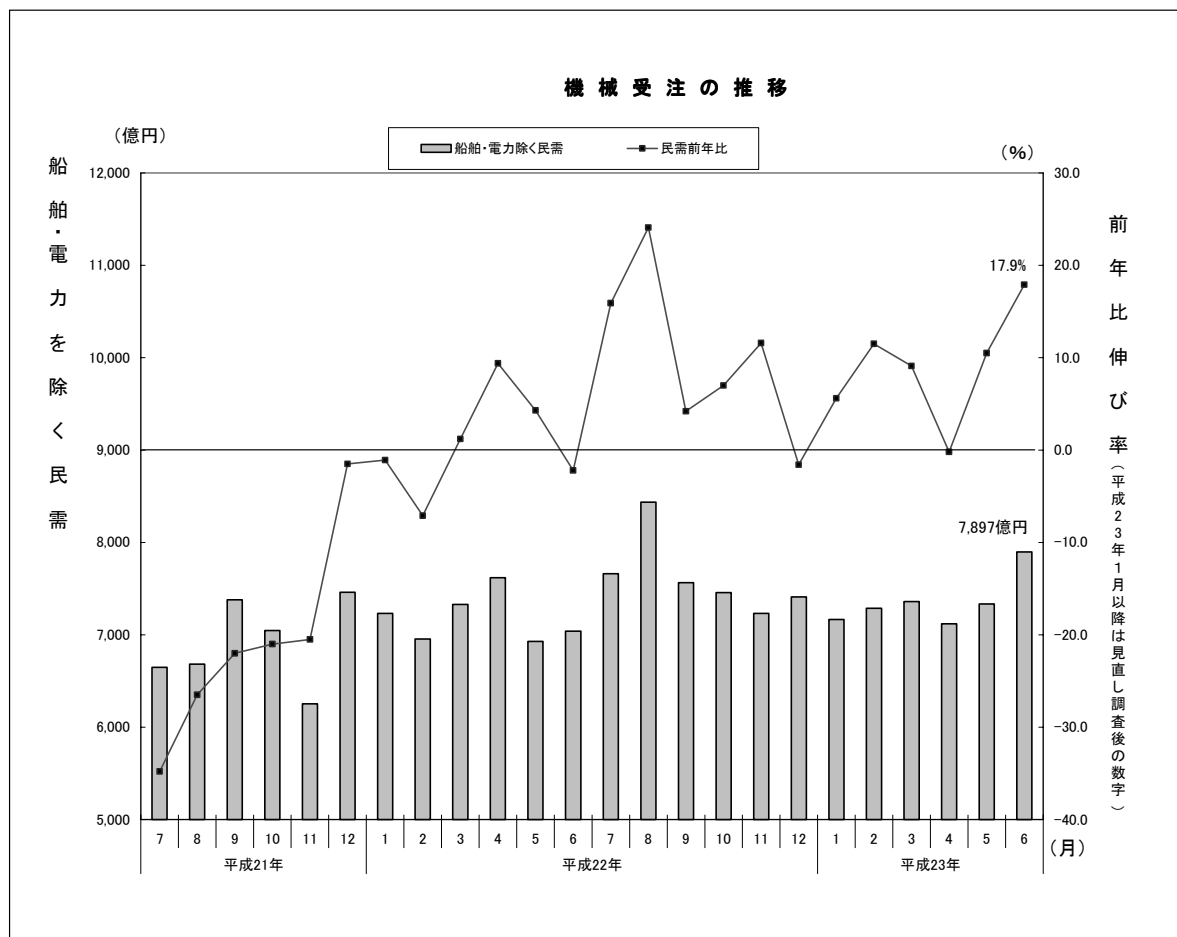
内訳をみると、製造業が同9.3%増の3,440億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同15.7%増の4,445億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、その他輸送用機械(47.4%増) 化学工業(36.0%増) 精密機械(28.2%増) パルプ・紙・紙加工品(26.1%増) 鉄鋼業(13.2%増) 自動車・同付属品(8.9%増)等の10業種で、石油製品・石炭製品(30.8%減) 情報通信機械(30.2%減) 造船業(22.7%減)等の5業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業(102.5%増) 金融・保険業(48.6%増) リース業(16.9%増)等の5業種で、不動産業(27.4%減) 卸売・小売業(19.2%減) 農林漁業(13.3%減) 建設業(7.8%減)等の7業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

\* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年6月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+7.3% (製造業+13.4%、非製造業 9.4%)





機械受注統計（平成23年6月分）

	22年 7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	4~6月 実績	23年 7~9月 見通し	23年 3月 実績	4月 実績	5月 実績	6月 実績
受注総額	59,380 ( 6.5) [ 25.5]	61,589 ( 3.7) [ 15.7]	67,789 ( 10.1) [ 18.8]	61,253 ( -9.6) [ 9.4]	60,716 ( -0.9) [ 1.8]	19,742 (-20.4) [ 4.9]	20,354 ( 3.1) [ 3.7]	19,893 ( -2.3) [ 14.7]	21,005 ( 5.6) [ 10.4]
民需	26,640 ( 9.5) [ 16.1]	26,554 ( -0.3) [ 13.6]	27,362 ( 3.0) [ 10.8]	27,926 ( 2.1) [ 15.4]	28,217 ( 1.0) [ 6.4]	8,229 (-19.8) [ -1.7]	8,461 ( 2.8) [ -3.6]	8,873 ( 4.9) [ 20.1]	10,591 ( 19.4) [ 28.2]
” (Ex 船・電)	21,596 ( 5.6) [ 13.9]	20,660 ( -4.3) [ 5.6]	21,813 ( 5.6) [ 8.9]	22,351 ( 2.5) [ 9.8]	22,542 ( 0.9) [ 5.6]	7,360 ( 1.0) [ 9.1]	7,119 ( -3.3) [ -0.2]	7,334 ( 3.0) [ 10.5]	7,897 ( 7.7) [ 17.9]
製造業	9,477 ( 13.2) [ 34.4]	9,314 ( -1.7) [ 11.5]	9,807 ( 5.3) [ 16.3]	9,783 ( -0.2) [ 17.2]	9,721 ( -0.6) [ 5.4]	3,285 ( -0.8) [ 18.3]	3,194 ( -2.7) [ 7.4]	3,149 ( -1.4) [ 22.5]	3,440 ( 9.3) [ 21.1]
非製造業 (Ex 船・電)	12,221 ( 2.5) [ 2.3]	11,600 ( -5.1) [ 0.3]	11,761 ( 1.4) [ 3.5]	12,344 ( 5.0) [ 4.2]	12,756 ( 3.3) [ 5.3]	3,943 ( 0.1) [ 3.1]	4,058 ( 2.9) [ -5.2]	3,841 ( -5.4) [ 1.5]	4,445 ( 15.7) [ 15.4]
官公需	6,907 ( 3.0) [ -10.1]	6,715 ( -2.8) [ 2.6]	6,310 ( -6.0) [ -10.8]	6,365 ( 0.9) [ -6.9]	5,436 (-14.6) [ -19.0]	2,026 ( -9.4) [ -12.6]	2,002 ( -1.2) [ -16.3]	2,217 ( 10.7) [ 11.3]	2,146 ( -3.2) [ -6.4]
外需	25,221 ( 9.5) [ 54.1]	25,426 ( 0.8) [ 22.4]	28,817 ( 13.3) [ 43.1]	25,038 (-13.1) [ 7.1]	23,832 ( -4.8) [ -0.6]	9,088 (-10.8) [ 23.2]	8,900 ( -2.1) [ 17.1]	8,315 ( -6.6) [ 10.6]	7,823 ( -5.9) [ -3.2]
代理店	2,391 ( 0.6) [ 21.9]	2,328 ( -2.7) [ 8.9]	2,512 ( 7.9) [ 12.3]	2,588 ( 3.0) [ 7.8]	2,364 ( -8.6) [ -1.6]	839 ( 1.2) [ 12.1]	1,035 ( 23.3) [ 20.8]	803 (-22.4) [ 8.6]	750 ( -6.6) [ -4.9]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内6月の新設住宅着工戸数は、総数で2,817戸(前年同月比16.1%増)となり、貸家は減少したものの、持家、分乗住宅が増加し、全体では6か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では724戸の増加となった。

### 6月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	997	1.3	26,931	2.6
・分譲住宅	973	73.4	19,090	21.6
貸家系・貸家	843	3.9	26,023	4.6
・給与住宅	4	0.0	643	41.0
<b>総数</b>	<b>2,817</b>	<b>16.1</b>	<b>72,687</b>	<b>5.8</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

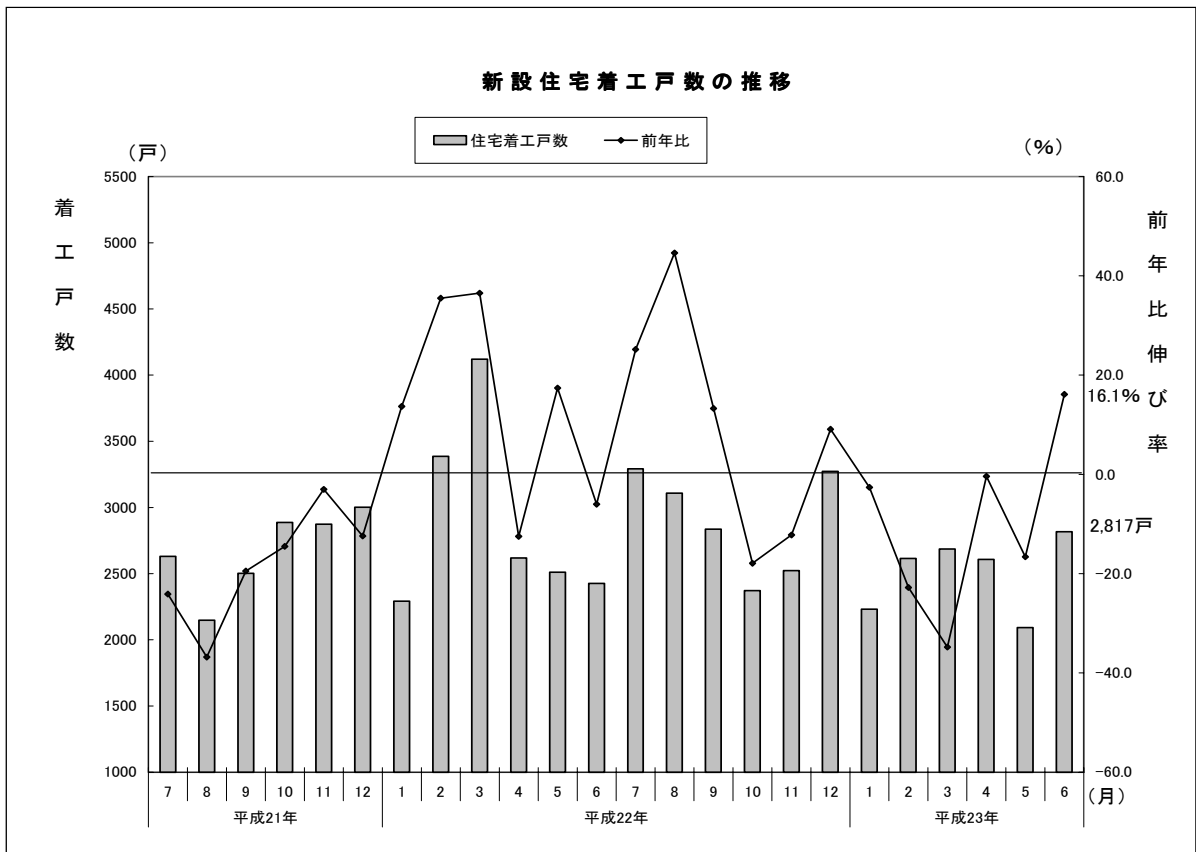
### 6月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	766	767	285	371	82	301	120	44	30	51	2,817
前月比	438	367	-113	85	6	-73	28	6	2	-22	724

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月～6月の新設住宅着工累計は、総数で7,517戸、前年同期比38戸の減少となった。利用関係別では「持家」が2,604戸(前年同期比3.8%減)、「分譲住宅」が2,748戸(同44.4%増)、「貸家」が2,125戸(同21.7%減)、「給与住宅」が40戸(同82.5%減)となった。



## 【公共工事】

7月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は422件で前年同月比12.8%の減少、請負金額は204億87百万円で同41.5%の減少となり、金額ベースで8か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」前年同月比91.5%、「その他の団体」同64.7%、「国」同36.6%、「神戸市を除く市町」同35.6%、「兵庫県」同24.1%、「神戸市」同23.5%の減少となり、前年同月を下回った。

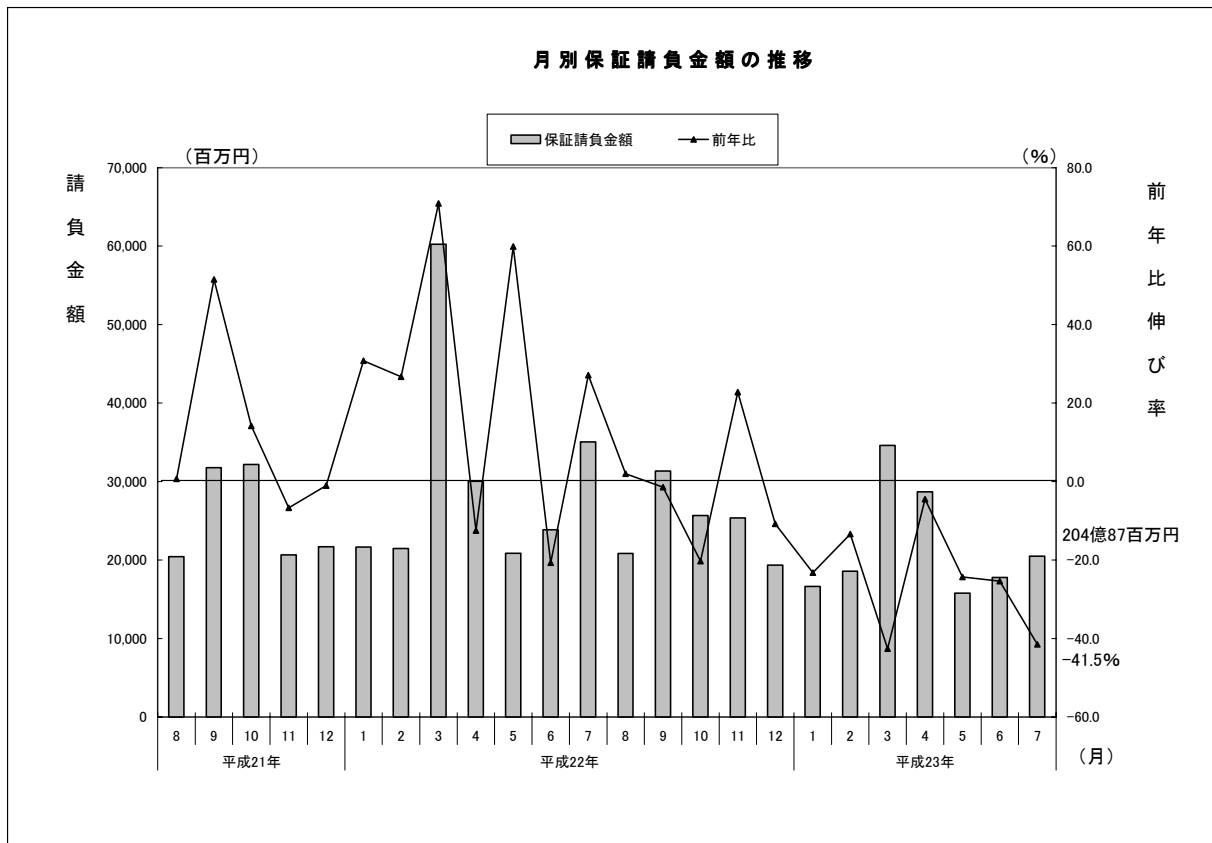
地域別(金額ベース)では、但馬(前年同月比11.3%増)淡路(同6.4%増)で増加となったが、阪神南(同58.9%減)阪神北(同56.9%減)神戸市(同54.4%減)、中播磨(同47.1%減)北播磨(同41.7%増)西播磨(同37.4%減)東播磨(同31.5%減)丹波(同21.6%減)では減少となった。

### 7月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	22( 0.0)	2,380( 36.6)	和田山八鹿道路トンネル消火設備新設工事
独立行政法人等	6( 53.8)	380( 91.5)	
兵庫県	147( 10.9)	5,227( 24.1)	
神戸市	47( 4.1)	2,761( 23.5)	友生支援学校新築工事、篠原支線シールド工事
神戸市を除く市町	186( 13.5)	8,799( 35.6)	夙川小学校東校舎改築工事、香住小学校新校舎建築工事、神崎小学校・幼稚園新築工事
その他の団体	14( 30.0)	938( 64.7)	
合計	422( 12.8)	20,487( 41.5)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成23年6月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,111億円、前年同月比10.8%の増加で、総額ベースで18か月連続の増加となった。輸出は、船舶などが減少したものの、建設用・鉱山用機械、半導体等製造装置などが増加した。一方輸入は、肉類及び同調製品などが減少したものの、たばこ、原動機などが増加した。

輸出は4,710億円(前年同月比9.6%増)と18か月連続で前年を上回った。

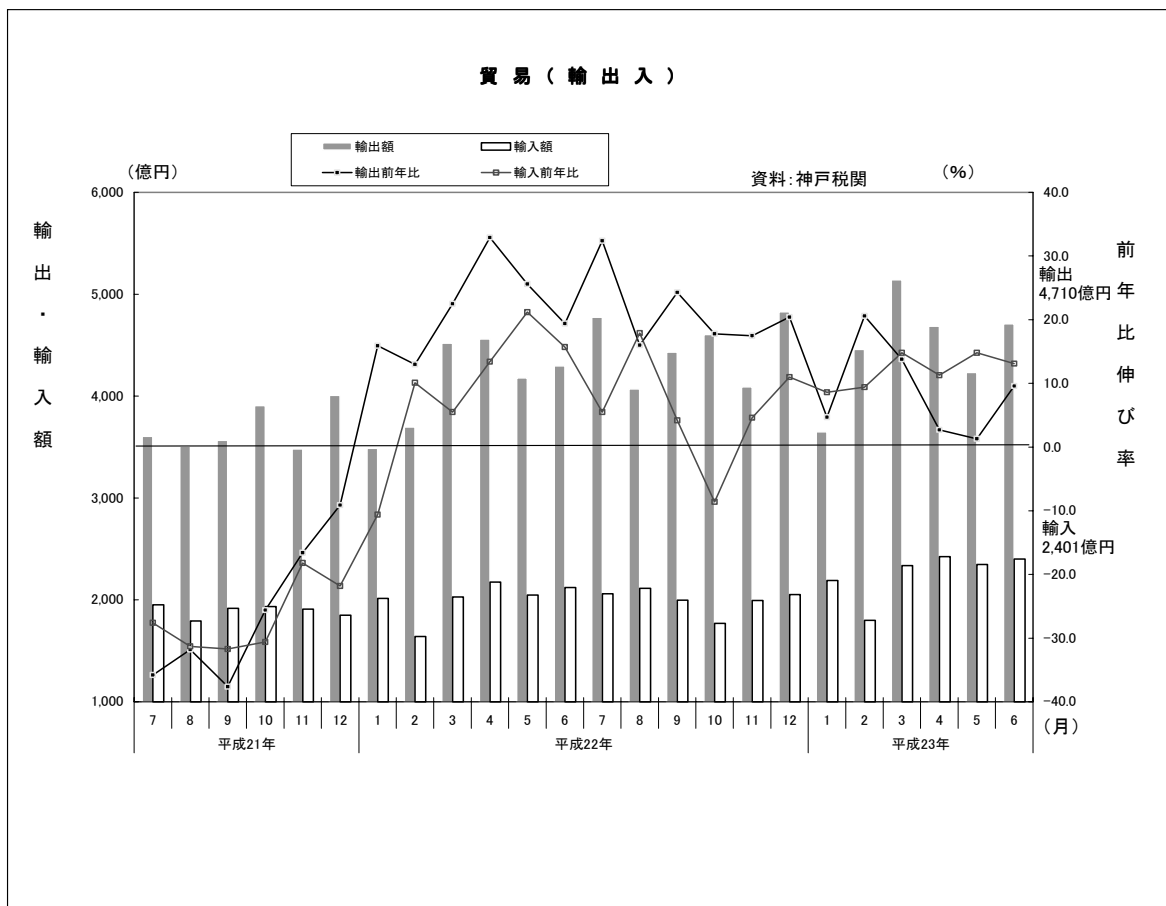
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比9.7%増、2か月ぶりにプラス)、原動機(同4.3%増、2か月連続プラス)、プラスチック(同9.6%増、5か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同67.9%増、18か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同13.2%増、5か月連続プラス)、中国(同16.1%増、5か月連続プラス)、米国(同7.4%増、18か月連続プラス)、EU(同18.0%増、12か月連続プラス)向けが各々増加した。

輸入は2,401円(前年同月比13.1%増)と8か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同附属品(前年同月比3.4%減、12か月連続マイナス)、非鉄金属(同0.5%減、2か月連続マイナス)が減少したものの、たばこ(同38.7%増、5か月連続プラス)、有機化合物(同8.1%増、17か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同14.7%増、8か月連続プラス)、中国(同8.3%増、2か月連続プラス)、米国(同7.1%増、5か月連続プラス)、EU(同23.5%増、3か月連続プラス)向けが増加した。



## 【物 価】『消費者物価』

7月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.9(平成17年=100)となり、前月比は変わらず、前年同月比は1.0%の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は99.6となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.9%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.2となり、前月比は変わらず、前年同月比は1.0%上昇した。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの値上がりにより「教養娯楽」が1.7%、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.7%、交通の値上がりにより「交通・通信」が0.2%、それぞれ上昇した。しかしながら、果物などの値下がりにより「食料」が0.6%、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が1.9%、保健医療用品・器具などの値下がりにより「保健医療」が0.4%、理美容用品などの値下がりにより「諸雑費」が0.3%、寝具類などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.1%、それぞれ下落したが、総合では変わらずとなった。

### 7月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.9	101.3	101.8	104.9	86.7	95.8	97.8	97.6	99.0	96.3	105.3	99.6	98.2
前月比	0.0	-0.6	0.0	0.7	-0.1	-1.9	-0.4	0.2	0.0	1.7	-0.3	0.0	0.0
前年同月比	1.0	-0.1	2.8	2.1	-1.9	2.8	-0.7	-1.5	1.0	0.5	5.4	0.9	1.0

(注)平成17年=100

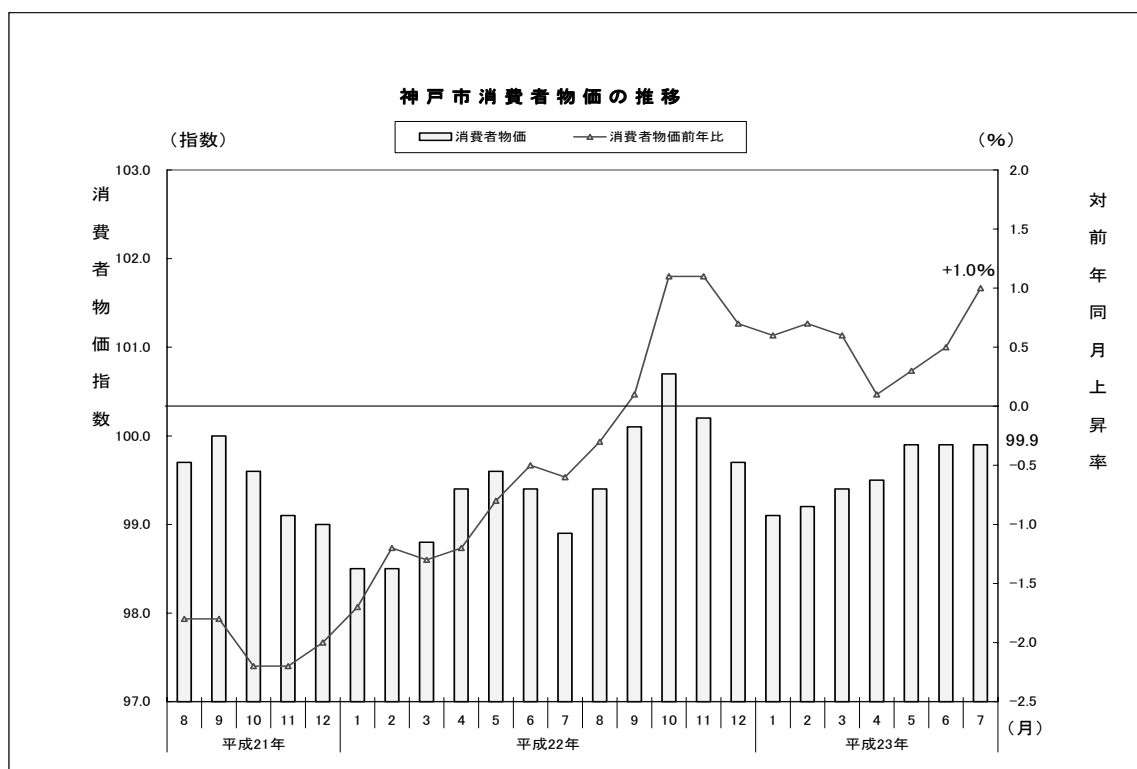
資料：兵庫県統計課

#### 対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (+ 3.0%)・・・外国パック旅行  
電気代 (+ 0.8%)・・・電気代

#### 対前月比値下がりした主な品目

果物 ( 8.4%)・・・サクランボ、ぶどう(デラウエア)、バナナ  
衣料 ( 5.2%)・・・スカート(春夏物)、婦人スーツ(春夏物)



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が8月10日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年7月の実績は次のとおり。

### 7月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.7	0.2	2.9
輸 出 物 価	84.6	1.3	1.1
輸 入 物 価	119.7	0.6	12.9

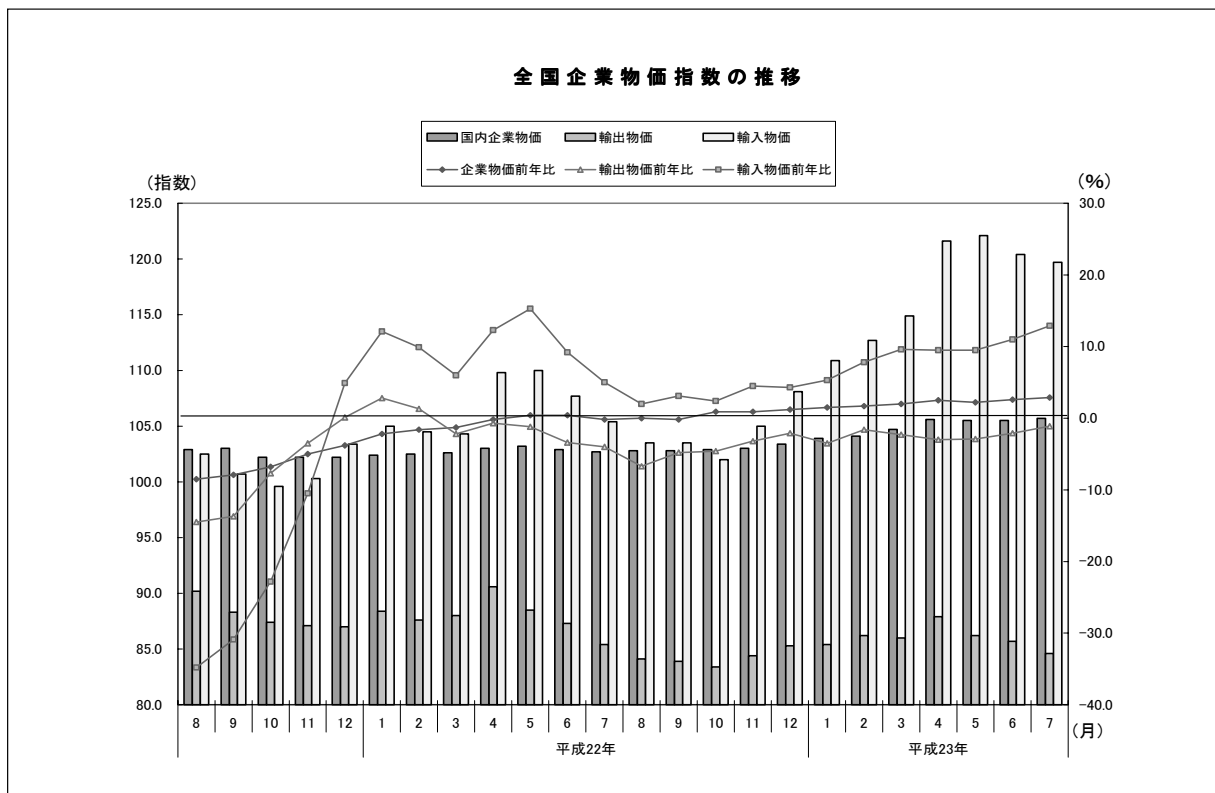
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、石油・石炭製品(前月比-1.4%<ナフサ、灯油など>)、農林水産物(同-1.4%<牛肉、鶏卵など>)が低下したものの、電力・都市ガス・水道(同+5.8%<特別高圧電力など>)、非鉄金属(同+1.5%<銅地金など>)、情報通信機器(同+0.3%<オーディオなど>)、電子部品・デバイス(同+0.3%<モス型ロジック集積回路など>)、加工食品(同+0.2%<小麦粉、清酒など>)、プラスチック製品(同+0.3%<非飲料用プラスチック容器など>)等が上昇し、全体では前月比0.2%の上昇となった。

前年同月比では、原油など商品価格上昇を転嫁する動きから、2.9%の上昇となった。ただ、最近の商品価格下落を受けて、前月比の伸び率は0.2%にとどまり、日銀は当面、「横ばい圏の動きになる」とみている。

輸出物価は、輸送用機器(前月比-2.8%<普通・小型乗用車など>)、化学薬品(同-1.4%<パラキシレンなど>)、電気・電子機器(同-1.1%<電子機器用コンデンサなど>)等が低下し、円ベースでは前月比1.3%の低下(前年同月比-1.1%)となった。

輸入物価は、電気・電子機器(前月比-1.2%<モス型ロジック集積回路など>)、石油・石炭・天然ガス(同-0.4%<液化天然ガスなど>)等が低下し、円ベースでは前月比0.6%の低下(前年同月比+12.9%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内6月の新規求人数(全数)は、23,065人(前年同月比4.5%増、前月比12.3%増)で、14か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は57,333人(前年同月比8.3%増、前月比0.8%減)で14か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比3.8%増で16か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同4.6%増で2か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同13.9%増で8か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比20.6%増)、製造業(同5.6%増)、情報通信業(同30.8%増)、卸売業、小売業(同5.5%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同27.3%増)、医療、福祉(同2.5%増)、サービス業(同3.9%増)は前年を上回ったが、運輸業、郵便業(同8.1%減)、宿泊業、飲食サービス業(同1.8%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同12.8%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

6月の新規求職申込件数(全数)は、25,415件(前年同月比5.2%減、前月比2.7%減)で、9か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は112,642人(前年同月比7.1%減、前月比1.3%減)で13か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比6.0%減で15か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同3.6%減で2か月ぶりに前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比0.3%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比42.4%増で25か月連続して前年を上回ったが、在職者は同6.4%減で5か月連続して、事業主都合離職者は同20.9%減で18か月連続して、自己都合離職者は同7.4%減で13か月連続して、自営・他は同14.4%減で2か月ぶりに前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、28,041人(前年同月比10.6%減)で、16か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

6月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.94倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.58倍で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

6月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.6%で前月より0.1ポイント悪化、完全失業者数(原数値)は293万人(前年同月差36万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.7%(前年同月より1.2ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は48万人(前年同月差12万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年6月	23,065	1,671	2,777	437	1,422	3,507	173	345	961	1,519	916	5,554	2,851
前年同月比	4.5	20.6	5.6	30.8	8.1	5.5	39.5	3.0	27.3	1.8	12.8	2.5	3.9

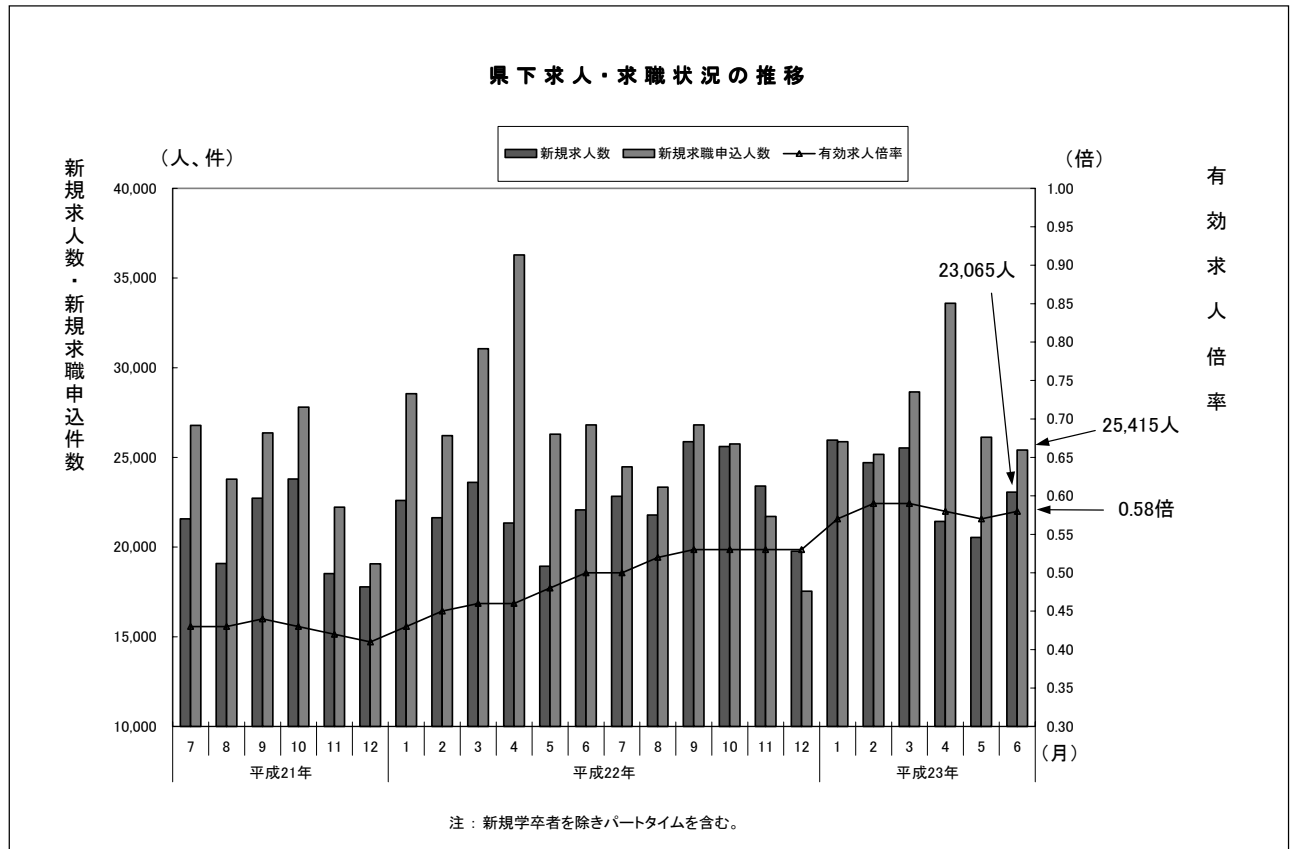
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	10/4-6	10/7-9	10/10-12	11/1-3	11/4	11/5	11/6
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.48	0.51	0.54	0.58	0.58	0.57	0.58
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.4	11.2	14.5	12.3	0.4	8.4	4.5
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	13.2	14.7	12.5	8.3	7.6	6.0	9.0
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	1.1	1.2	0.6	1.2	0.7	0.7	0.3
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.0	1.7	0.4	1.1	1.7	0.6

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部





## 【信用保証】

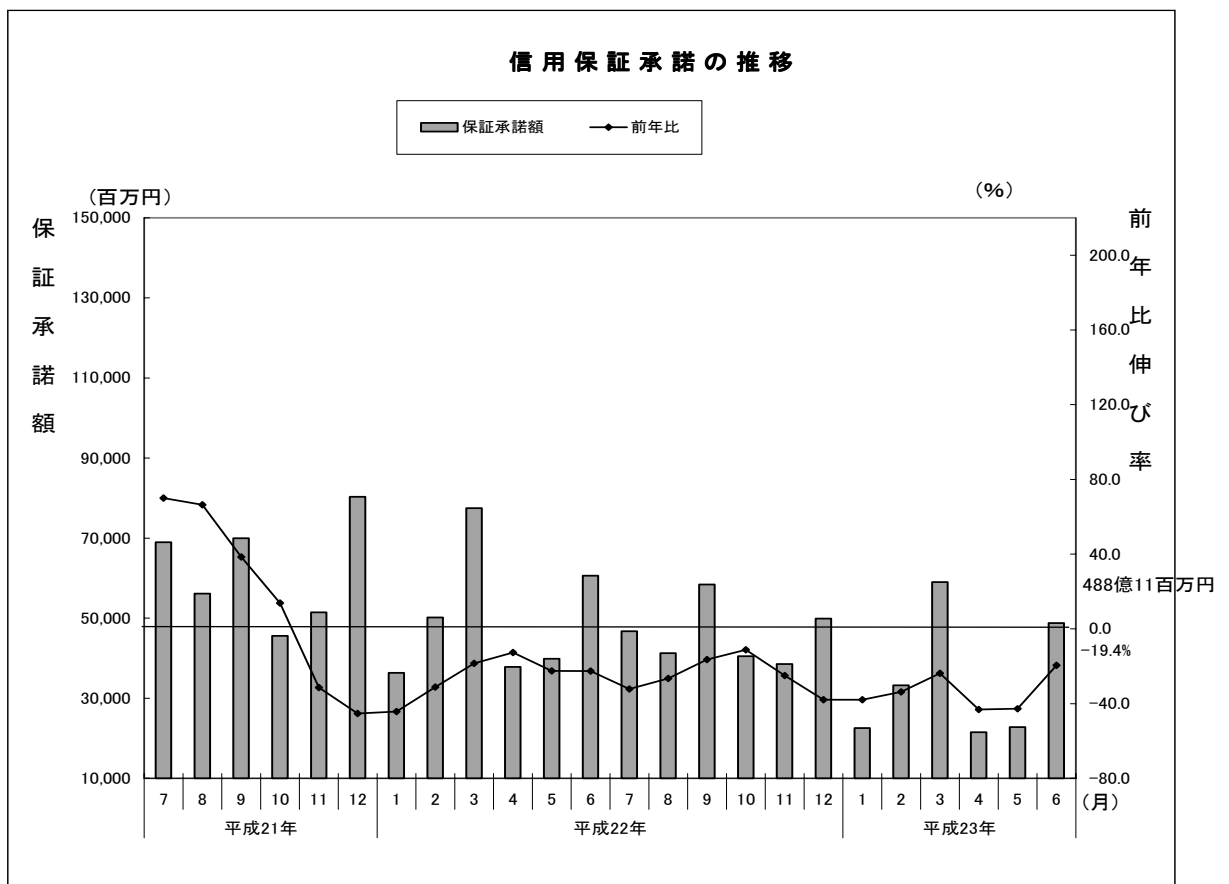
兵庫県信用保証協会による6月の保証承諾実績は、件数で2,704件(前年同月比19.4%減)、金額は488億11百万円(同19.5%減)となり、20か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が高水準で推移していた反動により、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「卸売業」11,889百万円(前年同月比4.6%増)、「不動産業」1,821百万円(同3.7%増)で前年同月を上回り、「サービス業」5,486百万円(同14.2%減)、「建設業」12,110百万円(同23.4%減)、「飲食店」1,028百万円(同25.5%減)、「製造業」8,940百万円(同31.2%減)、「小売業」5,007百万円(同32.0%減)、「運送・倉庫業」2,293百万円(同32.9%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、386件(前年同月比11.2%増)、42億31百万円(同1.4%増)となった。

6月末の保証債務残高は、117,055件(前年同月比2.0%減)、1兆4,267億円(同3.2%減)となった。



## 【金融】

6月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	140,229	2.4	56,269	1.8
地方銀行	23,751	2.1	19,058	1.2
第二地方銀行	30,771	0.8	19,566	2.1
信用金庫	78,611	1.7	38,441	0.1
その他	16,773	5.1	16,896	2.2
計	290,135	2.2	150,230	0.5

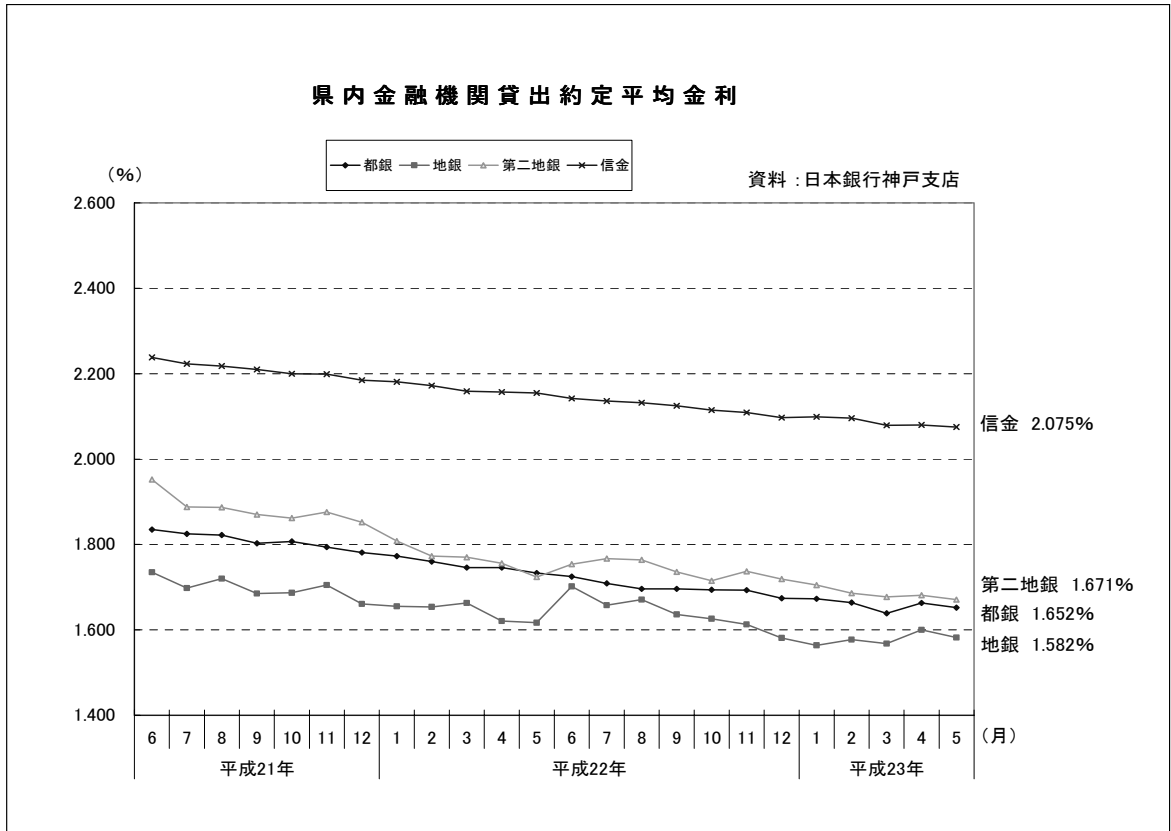
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

6月の預金は、前年を上回って推移している。

6月の貸出は、前年を下回って推移している。

6月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(6月末水準 1.790%、前月比 0.004%ポイント)。



## 【倒 産】

県内7月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は56件で前年同月比1.8%増加、負債総額は92億55百万円で同13.4%の増加となった。倒産件数は、前月比5件の減少ながら今年に入って3番目の多さとなり、一方で負債総額は3か月連続100億円を下回った。当月も県下全域で倒産が発生し、個人企業の倒産がトップ、「不況型倒産」が50件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が40件(全体の71.4%)と前月比3件の増加で当月もトップ。2番目は赤字累積で10件、次いで不良債権発生と信用性低下が共に2件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は50件と前月比3件の増加となり、構成比は89.3%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、建設業が19件(全体の33.9%)と最も多く、2番目は食品業が16件、次いで不動産・サービス他業が10件、金属・機械・電気業が5件と続いている。

日本銀行神戸支店が8月3日に発表した「管内金融経済概況」では、「震災の影響を残しつつも、持ち直している」として前月に続いて判断を引き上げた。

「資本金別」では、「個人企業」が22件でトップ、次いで「1千万円以上」が18件、「1百万円以上」が8件となった。

「産業別」では、「サービス・他業」が21件でトップ、次いで「建設業」が19件、「製造業」と「小売業」が共に5件となった。

上場並びに、これに準じる大手企業への回復基調や東日本大震災から生産回復の一方で、業況・業績改善が遅れている中小・零細企業を取り巻く経営環境は未だ厳しく、加えて、今夏の節電関連や急激な円高に見られる為替変動、原材料価格の全般的な高騰等の不安定要因を踏まえると、引き続き「小口倒産」多発が懸念され、経営体力を損傷している中小・零細企業を中心に注視が必要とされる。

7月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	5	-4	3	-2	金属・機械・電気	5	7	-2	7	-2
過小資本	1	2	-1	1	0	化学・薬品	0	1	-1	0	0
連鎖倒産	2	3	-1	3	-1	ゴム・皮革・ケミカル	1	2	-1	2	-1
赤字累積	10	10	0	1	9	食品	16	14	2	4	12
販売不振	40	37	3	43	-3	建設	19	19	0	18	1
売掛金回収難	0	0	0	1	-1	不動産・サービス	10	11	-1	12	-2
その他	2	4	-2	3	-1	運輸・通信他	5	7	-2	12	-7
合計	56	61	-5	55	1	合計	56	61	-5	55	1

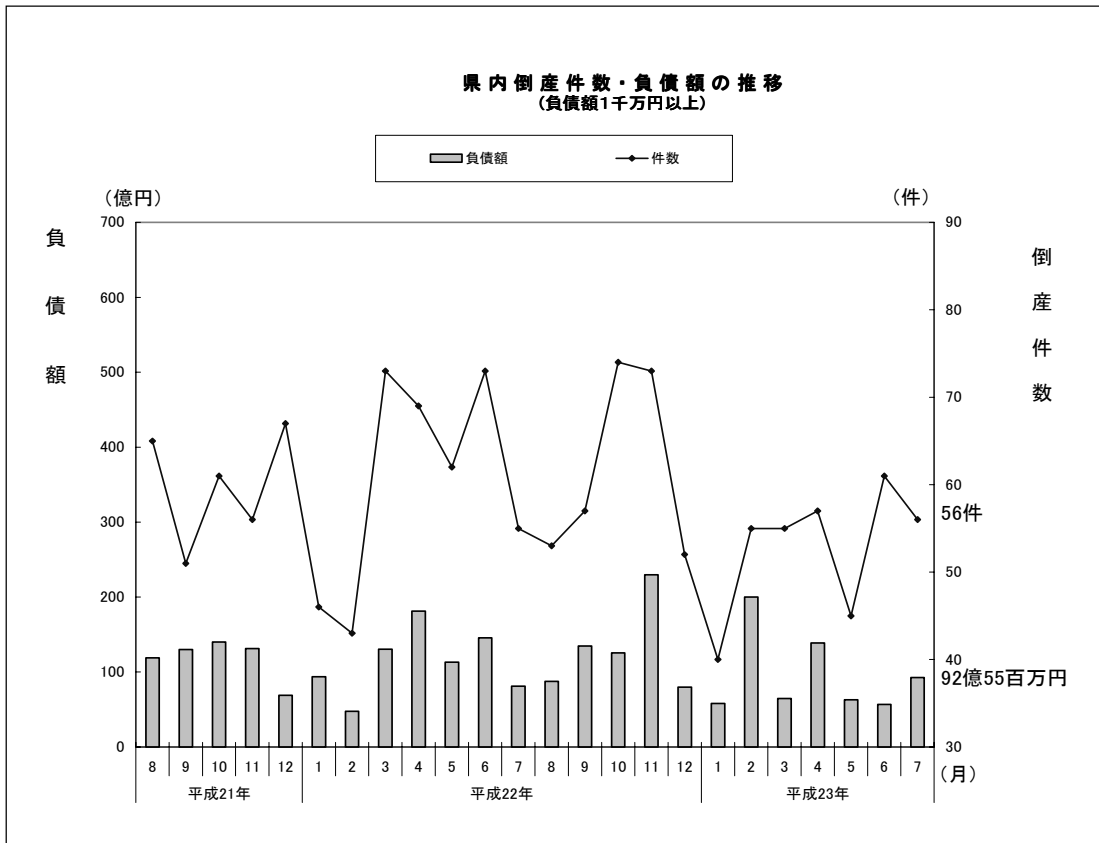
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1
23年 5月	45	14	17	3	7	1	1	2
23年 6月	61	13	23	8	12	2	1	2
23年 7月	56	18	16	8	9	2	1	2

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5
23年 1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
5月	r 102.9	3.9	89.2	6.2	158	24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
6月	p 102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
7月					205	-41.5	-15.9			
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫県支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	r 4,234	1.3	r 2,348	14.8
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	p 4,710	9.6	p 2,347	13.1
7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7					
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	99.7	0.0
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.2	-0.5
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	0.3
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.1	0.1	99.8	0.3
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.7	1.1	100.2	0.4
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	-0.3
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.7	0.7	99.6	-0.3
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.1	0.6	99.4	-0.2
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.2	0.7	99.3	-0.1
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.4	0.6	99.6	0.3
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	99.5	0.1	99.9	0.3
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	97.2	0.0	99.9	0.3	100.0	0.1
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	97.5	-0.5	r 100.0	0.5	99.9	-0.1
7月							p 99.9	1.0		
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	r 105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	p 105.7	2.9				56	93	18	16	22
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値